



川筋のイチョウ（東温市松瀬川：東温市指定天然記念物）  
幹まわり7.85m、高さ31.2m、県下で5指に入る大イチョウ。お堂は長福寺跡で、十一面観世音菩薩が祀られている。

 いざという時のために

今年の夏は異常気象で全国的に多くの被害がありました。豪雨、猛暑、台風に何度前代未聞という言葉聞いたでしょうか。比較的災害の少ない愛媛県では、ニュースで注意を呼びかけられても実感が伴わないことがよくあります。それだけにこの夏の県内の出来事は衝撃的で、「これまで大丈夫だったから」は通用しないことを皆が知りました。さらに先日9月6日には北海道胆振東部地震が発生、突然の惨状を伝える報道に胸が痛みます。

全国各地でさまざまな被害に遭われた皆様にこの場を借りて心よりお見舞い申し上げます。

立て続けに起きる災害は職場や家庭で現実味を持って備えを見直したり、新たに始めたりするきっかけになったと思います。当院でも患者さんの病室移動を含めた災害対策や食料、薬品の備蓄をしていますが、今夏被災した病医院の様子を見るにつけ、どこまでを想定して備えるべきなのか考えさせられました。できる

ことには限りがありますが、経験者からひとつでも多くのことを教えていただき、物品も手順も適宜バージョンアップしていく必要を痛感します。

また災害時には、院内の患者さんを守ると同時に近隣の被災者の救済にも当たらなければなりません。そのために自治体や医師会、災害派遣医療チーム（DMAT）と連携した働きが求められます。いざという時に落ち着いてそれぞれの役割を果たすためには、スタッフ一人ひとりがマニュアルと備えの実情を把握しておくことが必要です。そして業務の折々に、もし今何か起きたらどうすればいいかと想像してみるというようなことが、とっさの時の大きな助けになるかもしれません。職員の皆さんは日々の業務で手一杯のところ大変ですが、備えあれば憂いなしと信じてできることをコツコツやっていきましょう。

副院長 阿部 聖裕

# 金亀換酒

## 第9回 地域医療連携交流会

今回、地域医療連携交流会に参加し色々なお話を伺う中で、地域に根ざした医療が今まで以上に肝要となってくることを実感いたしました。

今年だけを見ても豪雨災害や台風、大地震など目を覆いたくなるような天災が起り、また、南海トラフ大地震の発生なども話題として口の端に上り、いつか私たちが住む場所が侵されるかもしれないと誰もが危機感を持ったことと思います。

そのような状況下において、絶対的に必要とされるであろう医療が、施設単体ではなく、各施設と平時からの連携があれば、完璧とは言えなくても、医療従事者として恥ずかしくない救護体制を整えることができると思います。

愛媛県医師会長 村上博様のご挨拶で、「連携は人と顔を合わせることによって繋がりが生まれる。」というお言葉がありました。医療施設は勿論、地域行政や日々の患者様とのコミュニケーションの重要性を示唆した、今の医療現場にとって大切な言葉だと感じました。



日常業務の中で色々な患者様やご家族様とお目にかかり、言葉を交わしています。ごく当たり前のことですが、そこから連携は始まっているという自覚を持ち、交流会で得た情報や知識を部署で共有し今後活かそうと思います。

この度は、大変お忙しい所多くの方のご来駕を頂き、時間を共にできたことを感謝いたします。

理学療法士長 青木 裕美



# 地域の輪



## 永山内科・循環器内科

繋がる地域医療連携



はじめまして。院長の永山晋也と申します。

当院は38年前に愛媛県松山市北梅本町に永山内科として開院し、消化器内科と一般内科を中心に地域に密着して診療を行ってきました。

このたび病院の名称を永山内科・循環器内科に変更し継承することとなりました。

私自身は主に循環器内科で虚血性心疾患、心不全、不整脈などを中心に研鑽してまいりました。とくに狭心症、心筋梗塞に対するステント治療や、心房細動、上室性頻脈に対するアブレーション、またペースメーカーの手術や重症心不全患者様にたいするデバイス治療に携わってきました。

もちろん循環器疾患と密接にかかわる生活習慣

病（高血圧、高脂血症、糖尿病など）の治療も数多く経験しております。

設備の面では電子カルテを導入しました。これにより患者様の検査結果を時系列で把握することができますし、多くの情報を素早く得ることができます。

また診察室のモニターに検査結果を表示することで、レントゲン、心電図、心エコーなどをより分かりやすく患者様に説明できるようになりました。

当院では睡眠時無呼吸症候群の簡易検査、心エコーによる心機能評価、発作時携帯型心電図による不整脈の精査も行っております。またペースメーカーのフォローも可能ですので、お気軽にご連絡ください。

4月に継承したばかりですが、今後は近隣のクリニックや病院と連携して地域の住民に愛される、また信頼される病院にしていきたいと考えております。今後ともよろしくお祈りいたします。

施設名：永山内科・循環器内科

院長：永山晋也

診療時間：月～金 8時30分～12時、14時～17時45分  
土曜日 8時30分～12時

休診：土曜日午後、日曜日・祝日

住所：松山市北梅本町666-2

電話：089-976-1788

にゅうふえいすどくたく

前任古田先生の後任として本年7月より当院消化器内科に赴任いたしました武智俊治です。平成12年に愛媛大学を卒業後は、これまで愛媛大学附属病院第3内科、松山赤十字病院 内科、市立大洲病院 内科、四国がんセンター 消化器科、松山赤十字病院 肝胆膵内科で勤務し消化器分野を中心とした診療に従事してきました。

前任の日赤が10年以上の勤務でしたので、肝胆膵疾患の比重が高い診療を行ってきました。当院でも比較的診る頻度の高い胆道疾患治療のお力になれたらと思っています。

また10年ぶりの大腸カメラですが、存外体が覚えているもので、何とか患者さまに迷惑のかからない程度には行えていると勝手に考えていますが、更に技術向上し診断精度が高く、負担の無い検査・治療を目指したいと考えています。

ところで少し紙面をお借りします。ご存じの方もいると思いますが、不名誉にも愛媛県は肝がん死亡率が全国一となっています。肝がんの多くがC型肝炎ウイルスやB型肝炎ウイルスを原因としていることがわかっていますが、自身の感染を知らなかったり、知っていても治療を受けていない患者さまがいまだに多くおられます。肝炎検査を受けること、検査を勧めることをお願いします。感染であれば肝機能正常でも当科を受診してください。



消化器内科医師

武智俊治

# 医 心 伝 心

がん検診のおはなし

平成28年度人口動態統計では、日本人の死亡原因の第1位は、男女ともに悪性新生物（がん）でした。そのがんの中で、発生頻度の高い臓器は、男性は気管、気管支および肺、以下胃、肝臓、結腸、膵臓。女性は、結腸、以下気管支および肺、膵臓、胃、乳房の順となっています。

市町村主体では、がん撲滅のため、肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、前立腺がんの検診が行われています。また、仕事をされている方は、職場での健康診断や、人間ドックを受けておられると思います。

悪性新生物に関しては、現在、早期に発見できれば完治することができます。

消化器内科に関するものでは、胃がん、大腸がんが対象となります。胃がん検診の胃部X線検査（バリウム）で異常を認めた場合、胃カメラ検査を受けていただきます。病変が見つかった場合は、病変部の一部を採取して、良性か悪性かの診断を行い適切な治療を行います。早期のがんであれば、腹部を切開することなく、内視鏡を用いた治療（内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術）で切除できるようになってきています。

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

大腸がんは、便潜血検査（2日法）を行い、1日でも陽性であれば、大腸カメラ検査を受けていただきます。ポリープ、早期大腸がんの場合は、胃がんと同様に現在内視鏡治療（ポリープ切除、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術）で切除可能となっています。

膵臓がんの早期発見は困難ですが、検査では腹部超音波検査を行います。異常を指摘された場合は、消化器内科を受診していただき、採血検査、腹部CT、腹部MRI検査等で精密検査を行い、適切な検査を行っていきます。

がんは怖い病気とされていますが、検査を定期的に受けて、早期発見早期治療を行えば、完治できる疾患になってきています。検査を受けて異常を指摘されたら、早めに専門の医療機関を受診してください。

消化器内科医師 大藏 いずみ



## ボランティア

## 業務技術員

## 絶賛募集中！

愛媛医療センターでは、病院を訪れる方や療養中の患者さんに少しでも楽しんでいただけるよう、病院玄関前のロータリーの植栽の整備を行いたいと思っており、お手伝いいただけるボランティアの募集をいたします。

地域に親しまれる病院を目指し、ボランティアの方々と一緒に考え、お互いの意見を話し合いながら、色々なことに取り組んでいきたいと思えます。まずは簡単なことから始めたいと思えますので、ご協力いただける方からのご連絡をお待ちしています。

連絡先 管理課長 頼本（よしもと）  
089-964-2411

活動時間 月に1～数回 2～3時間程度  
その他 病院負担でボランティア保険に加入します。  
必要な道具類は病院が用意します。



看護の業務を補助してくださる方（非常勤）を募集しています！！

医療の現場でやりがいのあるお仕事を私たちと一緒にしていただけませんか。

- ①業務内容  
看護助手業務で資格は特に必要ありません。  
お食事の配膳や下膳・お風呂の介助  
病棟内のお掃除やごみ捨て・物品の移送・その他
- ②勤務時間  
1週間に32時間（非常勤採用）  
早出、遅出がありますが、相談に応じます。
- ③勤務場所  
一般病棟、重症心身障害者病棟
- ④採用人数 2名
- ⑤教 育 年数回の研修を行っています。  
※詳細は、病院ホームページにもあります。

病院の見学も可能です。まずは、下記にお電話ください。

連絡先 電話089-964-2411  
（担当者：庶務班長 伊藤）



千客万来

# 健康フォーラム2018

満員御礼

9月2日に開催された東温市健康フォーラムにボランティアとして参加しました。まず始めにオープニングセレモニーとして川内中学校吹奏楽部による「かえるのうた」や「ふるさと」などの素敵な演奏から始まりました。今回のテーマは「若さへの挑戦」ということで、講師の愛媛大学伊賀瀬先生による特別講演や、家族で楽しめる様々なイベントなどがありました。

私はキッズコーナーで「白衣で変身」のお手伝いをさせていただきました。子どもたちが白衣に着替え、医師や看護師になりお父さんやお母さんを診察するというものでした。予想していた以上に多くのご家族が来られました。



白衣で変身



肺年齢測定で、小学生に説明する阿部副院長

子どもたちは、問診表を見ながら「いたいところありますか？」などとお父さん、お母さんに質問をして、真剣に聴診器で心臓の音を聞いていました。目を輝かせ「聞こえたー」と嬉しそうに話す子どもたちの姿が印象的でした。

また、聴診器を渡すと「これ本物!？」と驚いた様子の子もいました。白衣を着て問診をしたり、本物の聴診器で実際に心臓の音を聴いたりすることは機会のないことなので、とても良い経験になったと思いました。

この他にもいろいろな企画があり、子どもたちはもちろん、家族の方や地域の方々が楽しんで身体の健康について考える良い機会になったと感じました。今回、ボランティアに参加し、地域の方々とふれあいを通して、あらためて地域に根ざした看護を行っていきたく強く思いました。

21病棟看護師 菊池 真奈

## 医療安全管理 だより

こんなことしています

## 放射線科の取り組み

今回は、放射線科の医療事故防止の取り組みについてご紹介します。

放射線科では患者さんを間違えて撮影することがない

ように、患者さん自身に氏名を名乗ってもらうことや放射線検査時のスタッフによる患者確認の徹底を行っております。しかし、スタッフ間で患者確認に対する認識に相違が見られたり、曖昧な確認作業であったりする現状がありました。そこでスタッフ全員で各検査に対する患者誤認防止マニュアルを作成しました。作成時のポイントは、①患者さんとスタッフを守るものを作成する、②現段階で実行可能で、決まり事が守りやすく、納得のいくものを作成する、③スタッフ全員で作成するという3点としました。

スタッフ全員がこの3点に注意し患者誤認防止マニュアル作成・検討に関わったことで、放射線科全体で患者さんへの安全に対する認識の向上が図れ、患者さんもスタッフにもわかりやすく、理解しやすいポスターも作成することができたと思います。

また放射線科では患者誤認防止の取り組み以外に

も、大型の装置を用いて目に見えない放射線を使用しているため、患者さんやスタッフへの放射線被ばく管理や検査精度を保證する目的で装置や防護具などの定期的な管理も行っています。更に最新機器の機能を余すことなく診断や治療に活かすために、スタッフも日々研鑽に努め、患者さんが安心安全に検査をお受けいただけるように、医療事故防止活動を積極的に取り組んでいます。

(放射線科で検査を受けられる際、ご不明な点がありましたら遠慮なく放射線科スタッフに声を掛けていただくようお願いいたします。)



# 四季燦餐

## ～鯛飯の巻～

朝夕の風が心地よく、秋も深まりつつありますが、いかがお過ごしでしょうか。

秋と言えば、“食欲の秋”ですね。

わが愛媛県の「鯛」は、“都道府県別養殖量第1位”ということでも有名です。

そこで今回は、愛媛の郷土料理「鯛飯」についてご紹介したいと思います。

「鯛飯」といっても、東予（今治市など）や中予（松山市など）は、鯛を一匹まるごと使い、醤油や塩などシンプルな味付けで仕上げた炊き込み飯風。一方、農林水産省の「郷土料理100選」にも選ばれている南予の「宇和島鯛飯」は、鯛の刺身をごはんのにせ、タレと生卵・ゴマ・きざみネギなどの薬味を混ぜたものをかけて食べる。または、のせる前にタレに一旦漬けたものをごはんにかけて食べるメニューです。このように“ところ変われば品変わる”で、同じ料理名でも地域によって作り方、味が異なるようです。

機会があれば、ぜひ食べ比べをしてみたいかたがでしょうか。

残った炊き込み風の鯛飯は、チャーハンやオムライスにしてあんかけにしたり、焼きおにぎりにしてきざみのりをのせた後、お茶やだし汁をかけてお茶漬けにするといつもと違ったお味で楽しめますよ。

最近では、全国各地で、地元で生産されたものを地元で消費する地産地消（ちさんちしょう）に取り組まれています。郷土料理は各地域の産物を上手に活用して、風土にあった食べ物として作られ、歴史や文化、食生活とともに受け継がれています。

世代を超え、いつまでも愛される郷土料理「鯛飯」。

美味しさのあまり、くれぐれも食べ過ぎにはご注意ください！



ここで咲いたのは盲亀の浮木

## リュウゼツランリターン

うどんげ  
優曇華の花待ち得たるこの開花

今から6年前の2012年、石鏡29号紙上で『リュウゼツラン開花』のニュースをお届けしましたが、今年また一株のリュウゼツランが花をつけました。4メートルほどに伸びた花柄に黄色い小さな花がコロニー状に咲きました。

リュウゼツランは発芽から約50年を経てようやく開花する植物であることは前回お伝えしましたが、当院にあるリュウゼツランは208種知られている同種の中で、アオノリュウゼツランという国内では最もポピュラーな種類のようなようです。

今回開花した株が、50年前に発芽したものですれば1968年、昭和43年です。どんな年だったのでしょうか。

3億円事件や金婚老事件などの大きな犯罪があった一方で、川端康成さんが日本人初のノーベル文学賞を受賞した年でもありました。

また昔には、小さなスナック・花の首飾り・亜麻色の髪の乙女・長い髪の少女などのメロディーが流れ、グループ・サウンズ全盛の頃でもありました。

一株の開花がちょっとした時間旅行を味わわせ

てくれる珍しい植物ですが、リュウゼツランは一回結実性（一稔性植物）なので、弊紙が皆さんのお手元に届くころには枯れていると思われるかもしれません。

当院にはあと二株のリュウゼツランがあります。次の開花はいつでしょうか。そのときはまた、時間旅行を楽しみたいと思います。



# 看護学校の頁

～学び舎から～

## オープンスクール

今年のオープンスクールは、7月21日(土)に1回目、2回目は台風の影響もあり当初の予定を変更し9月1日(土)に開催しました。今年は、「手浴」、「喀痰吸引」、「沐浴・妊婦体験」の3つの看護体験と、在校生との交流会を企画し、多くの高校生に参加してもらいました。

各体験ブースでは、在校生の説明を真剣に聞いている様子や、技術の体験中も疑問に思ったことを質問したり、資料などを確認しながら熱心に取り組んでくれていました。在校生との交流会では、最初は緊張している様子も伺えましたが、授業や実習、学校生活についてや寮の生活についての質問が多くあり、当校に興味や関心を持ってもらっていることが伝わってきました。



吸引体験

オープンスクールに対するアンケートでは、「ここで看護の勉強がしたい。」「看護師になりたいという気持ちが強くなった。」などのご意見をたくさんいただきました。オープンスクールを通して、当校の魅力とともに看護の楽しさややりがいを知っていただけたのではないかと思います。また私たちも、高校生と関わる中で、自分たちが目指す看護師について改めて考え直すよい機会となりました。このオープンスクールをきっかけに、多くの方が愛媛医療センター附属看護学校を目指してくれるとうれしく思います。

15期生 出淵 杏実・寺尾 優梨亜

重いわ、これ



男子も妊婦体験

高知県の仁淀川の支流に「仁淀川」と呼ばれる滝壺があります。高知県の川というところと四万十川を思い浮かべる方も多いと思いますが、仁淀川は愛媛県の石鎚山を源流とし、高知県を流れて太平洋に注ぎ込んでいる1級河川です。国土交通省が実施している全国1級河川水質ランキングでは、平成24年から平成28年まで5年連続で全国第1位を獲得し、また、水辺利用者数調査でも全国第1位となったことがあります。

数年前にNHKで「仁淀ブルー」という言葉とともに、その透明度が紹介され全国的に知られるようになってきました。それから「仁淀川」がクローズアップされてきたようです。

私が「仁淀川」を知ったのはインターネット上の記事を偶然見かけたことからでした。その後、高知県に行く機会があったので、立ち寄ってみました。

国道194号線から「程野の滝」に向かう道の途中に小さな看板があります。10年以上前に通った時には、存在を知らずに通り過ぎていた場所です。新たに設けられた駐車スペースに車を止め、淵に向かって斜面を下りていくと、10分程度で川床に到着します。しかし、途中、急な階段や鎖を伝って下りるため、サンダルなどは危険です。

「仁淀川」は神の化身とされる大蛇が棲む所とされ、地元では神聖な場所だそうです。引き込まれそうな水の色や周りの風景に、時間を忘れて見入ってしまう。ここが神聖な場所とされているのが何となく分かる気がします。ただ、最近の観光客の増加に伴い、マナーが問題になってきているようです。地元の方にとって、大切な場所を汚すことのないよう、マナーを守って訪れたいものです。

太陽の射す角度の変化で、時間帯によって見える景色が違ってくるそうなので、また機会があれば行ってみたいと思います。

なお、現在(8月中旬)は、土砂崩れにより通行ができなくなっています。今年8月末までの復旧を目指しているとのことですが、出かける際は確認が必要です。

たわし



愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

ちよんと言いつけ

# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	鈴木	泉	岩田	船田
		午後		岩田			
	11診	午前					
		午後			岩田		
	12診	午前					
		午後			泉		
消化器内科	9診	午前	武智	山内(一)	久保	山内(一) (糖尿病専門)	久保
		午後					
	12診	午前			廣岡	大藏	
		午後					
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	阿部	伊東
		午後					
	11診	午前		渡邊		仙波	川上
		午後					
神経内科	12診	午前	小原	武井			戸井
		午後				小原	
整形外科	15診	午前	宮本			宮本	担当医(初診のみ)
		午後					
	16診	午前	相澤		相澤		
		午後					横手
リハビリテーション科	15診	午前		曾我部	曾我部		
外科	14診	午前					
		午後		石丸			
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本	渡部(第3週)	
		午後					
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
		午後				佐野(第4週14時30分~)	
小児科(神経外来)	14診	午前					
		午後	菊池		濱田		菊池

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来	14診				泉谷(隔週)	
ペースメーカー外来	6診				第2・4(午後)	
糖尿病外来	11診					古川(月1回)
フットケア外来	8診				毎週	
スキンケア外来	救外		第1・3(午前)			
ペインクリニック	11診			山内(康)(午前)		
じん肺外来	14診					西村(第1・3午前)
アスベスト外来	11診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13時30分~)				
SAS外来	11診					渡邊(14時~16時)
頭痛外来	13診				永井(第2・4午前)	
神経難病	13診			橋本		

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。  
 ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2018年10月1日現在

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。